



## 「山口県一」をめざす『福栄の「み・そ・あ・じ」』

月に1度ある生徒集会で話ができない時や、皆さんに伝えたいことがある時には、このような校長室通信を配付します。内容は、福栄中学校のめざす学校像である「ひたむき・ぬくもり・さわやかを共に大切にする福栄中学校」や福栄中学校のチャレンジ目標である『山口県一の福栄の「み・そ・あ・じ」』に関連したものです。皆さんに自分の心や行動を見直してほしいと思っています。

今回は、「み・そ・あ・じ」の「あ」にあたる「あいさつ」「会釈」についてです。『福栄の「み・そ・あ・じ」』がめざしているものは、あくまでも「山口県一」です。皆さんは、今、山口県一、人の心に伝わる気持ちのよい「10mのあいさつ」と「会釈」を心がけて毎日の生活をしているのでしょうか。先生の方から先にあいさつをされ、それを返すのは10mのあいさつではありません。10mのあいさつとは、相手より先にする「先手のあいさつ」なのです。まずは、離れた場所から大きな声であいさつをし、相手とすれ違う際に、相手の顔を見てもう一度あいさつをし、少し頭を下げる「会釈」をすることで、相手にとてもよく伝わるあいさつになるのです。「たかがあいさつ」「たかが会釈」なのですが、この「たかが」といった小さな事がきちんとできない人は、大きな事は決してできません。



どのようなことを日々の生活の中で意識すれば、よいあいさつが身につくのでしょうか。次のようなことが大切だと思います。

- **いつでも**…朝も、昼間も、夜も「あいさつ」を意識することです。
- **どこでも**…学校の中だけあいさつができるのでは、「本物」とは言えません。家の中でも、地域の中でも、大会の会場でもできないと「本物」ではありません。
- **誰に対しても**…学校では先生方やお客さん、そして、生徒同士でも。学校の外では、地域の方に。皆さんを朝と夕方、安全に運んでくださるスクールバスの運転手さんにも感謝の気持ちを込めて。家の中では、家族のみんなに。
- **何度でも**…朝あいさつしたからもうおしまいではありません。出会ったら何度でもあいさつをしましょう。

学校の中でも、学校の外でも、山口県一気持ちがよいあいさつができる福栄中学校をめざしましょう。元気でさわやかなあいさつや会釈ができる人もいる福栄中学校ではなく、27名全員が元気でさわやかなあいさつと美しい会釈ができる福栄中学校をめざしましょう。